

郷土が生んだ芥川賞作家 堀田善衛

生誕100年記念展示

今年、生誕100年を迎える堀田善衛。

県立図書館では、この富山県が生んだ偉大な作家について、所蔵資料を展示して紹介します。

この機会にぜひお手にとってみてください。

堀田善衛 プロフィール

作家、文芸評論家。大正7年7月17日生、平成10年9月5日没。

富山県射水郡伏木町（現在の高岡市伏木）に廻船問屋の三男として生まれる。伏木尋常小学校、石川県立第二中学校、慶応大学文学部仏文学科卒。

昭和26年刊行の『広場の孤独』『漢奸』など一連の著作により芥川賞受賞。富山県出身者としては初の芥川賞受賞者となる。昭和50年代には『ゴヤ』の執筆を機にスペインに長年滞在するなど、その国際的視野をもとに多くの小説・評論を生み出す。また日本アジア・アフリカ作家会議の事務局長を務めるなど、日本文学の国際的な地位の向上にも大いに貢献した。

2018年（平成30年）は生誕100年、没後20年にあたる。

期間：平成30年10月16日（火）～11月18日（日）

※10月22日（月）、25日（木）、29日（月）、11月5日（月）、12日（月）は休館日です

場所：富山県立図書館1階閲覧室入口